

News Release

2013年2月7日

〒103-8247

東京都中央区日本橋1-4-1
日本橋一丁目ビルディング
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社

モザンビーク向けガスパイプライン用26インチ電縫鋼管2万3千トン受注

伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社（本社：東京都中央区、社長：牛野健一郎）は、南アフリカ共和国の総合エネルギー企業最大手である SASOL（サソール）社がモザンビークで展開する ROMPCO（ロンプロコ）プロジェクト(*1)向けに、API5L X70 グレード(*2)で外径26インチのパイプライン用高強度電縫鋼管約2万3千トンを、JFE スチール株式会社（本社：東京都千代田区、社長：林田英治、以下 JFE）と共同で受注しました。

ROMPCO プロジェクトは、モザンビークにおけるガス需要に応じるため、同国内で産出される天然ガスを各需要家へ輸送する目的で敷設されるパイプライン建設プロジェクトです。今回受注した電縫鋼管はガス需要の増加に伴うルーピング(*3)建設の第1フェーズ約130kmに使用され、これによりテマネからレサノガルシア地区（マプト北西部）へのガス供給が可能となります。

当社と JFE は、JFE の製造実績及びそれを支えてきた最先端の鋼管製造技術・品質への高い信頼性に、当社のパイプラインビジネスにおける幾多の経験を通じて培われた商社機能を活かし、長年に亘り世界中の様々なパイプラインプロジェクトに高級鋼管を供給して参りました。SASOL 社には共同で2001～2002年に26インチ電縫鋼管を約10万トン供給しており、今回の受注も過去の納入実績における技術・品質・サービスが評価されたものといえます。

当社は、今後とも鋼管をはじめとする高機能・高品質な鋼材商品の提供を通じて、世界の資源・エネルギー開発に貢献して参ります。

尚、当社は、サブサハラ地域(*4)における広範な鋼材需要を捕捉し取引拡大に結び付けるべく、同地域の拠点として南アフリカ共和国・ヨハネスブルク支店を開設済みです。

(*1)ROMPCO プロジェクト

SASOL 社の事業会社である ROMPCO Lda が展開するプロジェクト。第 1 フェーズ部分は 2014 年 7 月の輸送開始を予定している。

(*2)API5L X70 グレード

アメリカ石油協会 (API) の規格に準拠したパイプラインの強度等級。5L は石油・ガス輸送用鋼管、X70 は降伏強度が 485MPa 以上であることを示す。

(*3)ルーピング

輸送量を増やすために既存パイプラインの全長あるいは一部に敷設する並列ライン

(*4)サブサハラ地域

サハラ砂漠以南の地域。主な国は、南アフリカ共和国、ナイジェリア、アンゴラ、ケニア、及び新資源国として注目されているモザンビーク等。

【SASOL 社の概要】

1950 年創立。資源採掘・化学工業最大手であり、主に石炭や天然ガスの採掘・販売で事業を展開。世界最先端の石炭液化技術が強み。

本社 : 南アフリカ共和国・ヨハネスブルグ

売上高 : 約 142,436 百万ランド(約 1 兆 4,336 億円) - 2011 年実績

純利益 : 約 20,220 百万ランド(約 2,035 億円)- 2011 年実績

* 10.0649 円/ランド換算

【製品写真】



<本件に対する問い合わせ先>

伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社 経営企画部 高島・正田 03-5204-3252